

# バランスシートと行政コスト計算書について

## 1. バランスシートとは？

バランスシートとは、当広域連合が持っている土地や建物などの財産（資産）の合計と、その財産を築くために使ったお金の調達方法（負債・正味資産）の合計を、年度末時点で左右に並べた表です。表の左（資産）と右（負債・正味資産）の合計が常に一致しておりバランスが取れていることから、「バランスシート」と呼ばれています。

また、左（借方）と右（貸方）に対照して表示していることから、「貸借対照表」とも呼ばれています。

## 2. 行政コスト計算書とは？

行政コスト計算書とは、バランスシートに計上されない、人的サービスや給付サービスなどの行政サービスにかかった経費（コスト）と、それに充てたお金（収入）を、1年間の総額で示したものです。

一般の企業における「損益計算書」に相当します。

## 3. バランスシートと行政コスト計算書作成の背景

現在、当広域連合または、国・県・市町村（上水道事業などの公営企業会計を除く）が採用している公会計は、現金の出入り（フロー情報）に着目した「現金主義」を基本としています。

しかし、この会計制度には、長年にわたり蓄積された資産や負債のストック情報や、行政サービスに要したコスト情報を把握しにくいなどの問題点があり、最近では「発生主義」を基本とする企業会計的手法を導入する動きが広まっています。

そこで、当広域連合では、より効率的な財政運営を目指すため、総務省が示した統一的な作成指針に基づいて、バランスシートと行政コスト計算書を作成しています。

